

イデックスオイルレポート ~For a month~

(株)新出光

【月次概況】

●第1週、12/6のWTI原油は、先週比0.8ドル安の67.20ドルとなった。石油輸出国機構(OPEC)加盟国とロシアなど非加盟産油国で構成する「OPECプラス」は5日、オンラインで閣僚級会合を開き、協調減産を2026年末まで1年延長することで合意した。ただ、中国を中心とした世界的なエネルギー需要の見通しに懸念が広がる中、協調減産が延長されたとしても、需給の不均衡は続くとの見方から売りが優勢となった。

●第2週、12/13のWTI原油は、先週比4.09高の71.29ドルとなった。欧州連合(EU)は今週の大使級会合で、ウクライナ侵攻を続けるロシアに15回目の制裁を科す方針で基本合意した。制裁は16日に開かれるEU外相理事会で採択される見通しだという。また、米メディアは今週、米国がトランプ次期米大統領の就任を前に、ロシアに対する追加制裁を検討中だと報じた。さらに、英仏独3国は国連安全保障理事会に対し、イランが今後核兵器を入手するのを防ぐ目的で、必要であれば対イラン制裁の復活を発動する準備ができていると伝えた。

●第3週、12/20のWTI原油は、先週比1.83ドル安の69.46ドルとなった。中国国営企業の中国石油化工(シノペック)19日公表の年次エネルギー見通しで、同国の原油輸入は2025年に最大となる可能性があるほか、ディーゼルとガソリン需要減退に伴い、石油消費量は27年までにピークに到達するとの分析を示した。一方、米商務省20日朝に発表した11月の個人消費支出(PCE)物価指数は、前年同月比の伸びが2カ月連続で拡大。

●第4週、12/27のWTI原油は、先週比1.14ドル高の70.6ドルとなった。世界最大の石油輸入国である中国の景気先行きに対する楽観的な見方が広がる中、原油買いが先行。ロイター通信が24日、関係者の話として伝えたところによると、中国当局は消費促進や技術改革の支援のため、過去最大規模となる3兆元(約64兆7000億円)相当の特別国債を2025年に発行する計画という。景気対策の強化がエネルギー需要の回復を促すとの期待が広がっている。

| | | | | | | | | | |
|--|-------|-------|---------|-----|--------|--------|---------|-----|-------|
| | 12月平均 | WTI原油 | 69.63ドル | 前月比 | 0.09ドル | 為替 1ドル | 154.77円 | 前月差 | 5.03円 |
|--|-------|-------|---------|-----|--------|--------|---------|-----|-------|

| 日付 | 補助金 | 変動幅 | 変動幅 |
|-------------|------|------|------|
| 12/1~12/4 | 16.3 | +3.0 | +3.0 |
| 12/5~12/11 | 15.2 | -2.5 | -2.5 |
| 12/12~12/18 | 14.9 | -0.5 | -0.5 |
| 12/19~12/25 | 12.7 | +2.0 | +2.0 |
| 12/26~12/31 | 15.0 | +1.0 | +1.0 |

(単位:円/KL)

| メニュー価格推移 | 0.5HPP | | ENEOS LS船用燃料油基準価格 | |
|--------------------|------------------|---------|---------------------------|----------------------------|
| | 2024年7-9月C重油決定価格 | 100,600 | 102,600 | 100,600(メニュー)+2,000(プレミアム) |
| 2024年10-12月C重油仮価格 | 88,570 | 90,570 | 88,570(メニュー)+2,000(プレミアム) | |
| 2024年10-12月C重油決定価格 | 91,120 | 93,120 | 91,120(メニュー)+2,000(プレミアム) | |
| 決定価格 前期比 | -9,480 | -9,480 | | |

単位:円/KL

| 内航燃料油価格推移 | 適合C重油 | | A重油 | |
|--------------------|------------------|---------|---------|--|
| | 2024年7-9月C重油決定価格 | 108,000 | 108,600 | |
| 2024年10-12月C重油仮価格 | 95,970 | | | |
| 2024年10-12月C重油決定価格 | 98,520 | 104,000 | | |
| 決定価格7-9月比 | -9,480 | -4,600 | | |

| CIF価格推移 | 年/月 | 9桁速報 | 原油CIF価格 | 通関CIF | 為替レート | 原油CIF価格 |
|---------|-------|------|---------|--------|--------|---------|
| | | | 円/kl | ドル/bbl | 円/ドル | 前月比 |
| | 24/11 | 9桁速報 | 75,154 | 78.15 | 152.89 | 1,680 |
| | 24/12 | 最終予測 | 72,717 | 75.94 | 152.23 | -2,437 |
| | 25/1 | 展望 | 71,146 | 75.40 | 150.00 | -1,571 |
| | 25/2 | 展望 | 69,878 | 75.06 | 148.00 | -1,268 |

【次世代エネルギー】〈水素や地熱活用へ〉

山梨県北杜市のサントリー白州工場では、水素をボイラー燃料として使用するプラントが来年稼働予定であり、これは東京電力ホールディングスや東レなどの共同出資による国内最大級の設備である。ボイラーの熱源を電気に替えることが難しく、国内エネルギー消費の大半は工場などでの化石燃料利用に依存しているため、水素の供給網整備が重要となる。特に、グリーン水素は再生可能エネルギーを利用し、CO2を排出せずに製造される点で注目されているが、日本では再エネコストが高いため、商用化には課題が残る。水素の1立方メートルあたりの価格が天然ガスの約10倍のため、補助金による支援が計画されている。川崎重工業は液化水素を輸送する技術を進めており、液化することで輸送効率を高めようとしている。世界的に水素需要が急増する中で、日本企業も市場機会を見据えて動いており、旭化成は水電解装置の販売を開始し、欧米やインド市場を狙っている。国内水素市場の最大手、岩谷産業は水素ステーションの設置を進め、SCREENホールディングスや荏原は水素関連製品の製造を強化している。一方、地熱発電にも注目が集まっており、三菱重工業は米国の地熱技術企業に出資し、次世代地熱発電技術(EGS)の拡大を目指している。大同特殊鋼は耐食性に優れた合金部品の開発を進め、富士電機は低温や蒸気量の少ない地域向けの発電機を増やす計画を持っている。中部電力もカナダのスタートアップ企業に出資し、革新的な地熱発電技術の開発に貢献しており、日本でも技術革新が進行中である。

出典: 日経電子版 <https://www.nikkei.com/nkd/company/article/?DisplayType=1&ng=DGXZQOUC05AIA0V01C24A1000000&scode=4205>

【1月価格変動要因】

●需要:
・トランプ次期大統領就任後の政策実現性が焦点。財政拡大や関税引き上げ等、トランプ氏が打ち出している政策は総じてインフレ誘発的。移民取締強化も安価な労働力供給の途絶による労働市況の引き締めにつながる事で、インフレ再燃懸念が根強い。
中国からはポジティブな材料が出てきた。
・12/9には中国共産党指導部が25年に金融緩和と財政支出の拡大を進める方針を示した。又、12/24には中国当局の関係者筋の話として、25年に過去最大規模となる3兆元相当の特別国債発行で合意したと伝わった。調達資金は消費喚起に向けた補助金プログラムや企業の設備更新・技術を牽引する先端分野への投資等に充てられる他、一部は利鞘縮小に苦しむ大手穀油銀行への資本増強へも使われる見通し。3兆元規模の特別国債発行は中国GDPの2.4%程度に相当する大規模なものであり、景気刺激策への期待感が高まる内容となった。

●供給:
・12/5のOPEC+閣僚級会合にて、1月から縮小する予定だった協調減産の枠組み=増産の予定を3か月先送りとし、自主減産についても2026年末まで延長した。原油価格を下支えせんとする動きであり価格自体にはポジティブである一方、OPECの余剰生産能力は、需要の3-4%程度の上振れは中東産油国の増産によって迅速に打ち消せうる状況を示唆しているとも考えられる。

●地政学:
・中東ではロシア・イランが支援してきたシリア・アサド政権が崩壊。イランの代理勢力が長引くイスラエルとの戦闘で弱体化する中で、多民族国家シリアにおける政変はトルコ・クルド人との対立激化やトランプ次期米大統領の今後の関与等、中東の地政学リスクに大きな変化をもたらす可能性がある。

<1ヶ月価格見通し> (単位:US/bbl)

| | Brent | WTI |
|---------|-------|-----|
| High | 80 | 77 |
| Average | 74 | 71 |
| Low | 68 | 65 |

<3ヶ月価格見通し> (単位:US/bbl)

| | Brent | WTI |
|---------|-------|-----|
| High | 82 | 79 |
| Average | 74 | 71 |
| Low | 66 | 63 |

| 日付 | 国 | 1月経済指標カレンダー | 日付 | 国 | 1月経済指標カレンダー |
|----|-----|----------------------|----|-----|----------------------------|
| 3 | 米国 | 12月ISM製造業景況指数 | 24 | 日本 | 日銀金融政策決定会合、終了後政策金利発表 |
| 7 | ユーロ | 12月消費者物価指数 | 24 | 日本 | 日銀展望レポート |
| 7 | 米国 | 12月ISM非製造業景況指数 | 24 | 日本 | 12月全国消費者物価指数 |
| 8 | 米国 | 12月ADP雇用統計 | 24 | 日本 | 植田和男日銀総裁、定例記者会見 |
| 8 | 米国 | 米連邦公開市場委員会(FOMC)議事要旨 | 29 | 米国 | 米連邦公開市場委員会(FOMC)、終了後政策金利発表 |
| 10 | 米国 | 12月非農業部門雇用者数変化 | 29 | 米国 | パウエル米連邦準備理事会(FRB)議長、定例記者会見 |
| 4 | 米国 | 12月失業率 | 30 | 米国 | 7-9月期四半期実質国内総生産 |
| 4 | 米国 | 12月平均時給 | 30 | ユーロ | 10-12月期四半期域内総生産 |
| 9 | 米国 | 米連邦公開市場委員会(FOMC)議事要旨 | 30 | ユーロ | 欧州中央銀行(ECB)政策金利 |
| 15 | 米国 | 12月消費者物価指数 | 30 | ユーロ | ラガルド欧州中央銀行(ECB)総裁、定例記者会見 |
| 16 | 米国 | 12月小売売上高 | 31 | 米国 | 12月個人消費支出 |
| 16 | 米国 | 12月小売売上高(除自動車) | | | |